



新型コロナウイルスの世界的大流行が始まってから4回目の春です。わが国の累計感染者数は3340万人を超え、犠牲になられた方は約74000人にも及びます。(4月1日現在)今年の桜は満開の時期に雨天が続いて、天候が回復した時にはもう散り始めていました。観桜には齡と共に様々な想いが積み重ねられていくようです。

「^{すご}凄みと情熱に驚いた！」

この言葉は3月10日から28日まで旧東方村中村家住宅で行われた「市内小学校開校150周年記念展示 越谷から見た近代教育」の『第一部 近代学校の誕生』をご覧になった方の感想です。このような感想は他の来館者や展示解説会の折にも聞かれました。それは特に次の史料をご覧になった時でした。

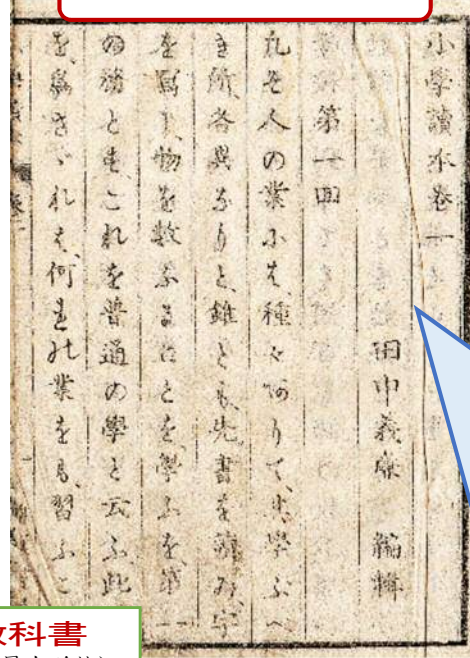
現代語訳

およそ地球上の人類は五つに分かれていて、アジア人種、ヨーロッパ人種、マライ人種、アメリカ人種、アフリカ人種である。

「小学読本 卷一」明治7年



「小学読本 卷一」明治10年



現代語訳

およそ人の業(こうり行為)には様々あるが、学ばなければならぬこととはそれぞれ異なるとしても、まずは書を読み、文字を書き写し、ものを数えるのを学ぶのが最初になすべきことである。

明治初期の教科書

(左右共に越谷市教育委員会所蔵)

幕府が大政奉還してわずか5年後、明治5年(1872年)に新政府は「学制」(教育の方針、教育課程等)を頒布して近代教育をスタートさせました。その頃に用いられたのがこの教科書でした。アメリカの「ウィルソン・リーダー」を翻訳したものです。これらは何と**6歳児用**として編集されたものでした。(但し、この教科書は上の学年でも使用されたようです。またこれとは別に「いろは」や単語の教科書もあり、併用して学習しました。)

編集者の田中義廉は教科書の巻頭に次のように書いています。(原文の現代語要約)

私は師範学校を創立する際に、小学校教科書が乏しいことに悩んだ。急速に「小学読本」を編集して生徒に授けるのは、編纂刊行が急激に迫っているからである。整ったものではないが、様々な翻訳、添削したものを私宅で家事をする雇人に読ませてみたら、前日より理解が進んだ様子なので刊行することにした。

編集する人も迷い模索して試行錯誤していることがわかります。記事冒頭に紹介した展示の感想の一部は、こうした教科書やその作成にかけた当時の関係者の思いやエネルギーを感じとられたのでしょうか。他にも来館された方々の感想をご紹介します。

『規則（進文学校の校則・明治八年）』を
観る来館の方々



★学校の先生方にこそ見て欲しい。 ★実物をもっと展示できると良かった。 ★こういう「地味な」企画をやられたことに驚きました。 ★今の教科書と明治初期の内容の変化がすごいです。
★木戸孝允日記に大沢を通ったことが出てくるし、近藤勇が越ヶ谷宿に護送された話があるが、それを生かして活性化ができるのではないか。 ★石盤って1枚しかない。たくさん書けない。(小学2年生)

★色がない！字が小さい。(明治の実物教科書を見た小学2年生) ★地元民であっても聞けないお話で、興味深かったです。 ★新制中学校についても知りたい。

★正直、驚いた。明治初期の日本の小学校教育のすごさ、予想を超える教育内容のレベルにである。現代に生きる私達からは無茶苦茶過ぎて乱暴そのままであるが、これをやってのけた当時の政府や教育関係者にある種の凄みと、狂気と、情熱を覚えた。
★ぜひ、資料館を。 ★蒲生小の第95期生なのですが、150年と比べると、蒲生小学校はそんな初期からあったということを知ることができました。

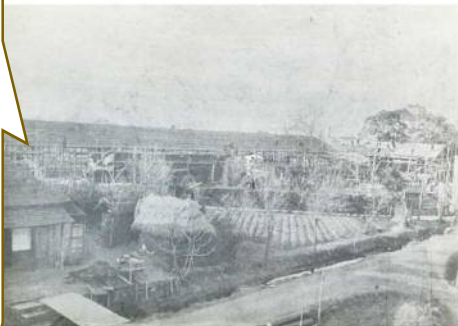
★越谷市民ですが、あまり知らなかったので、今日はとても沢山知ることができました。

★自分が生まれ育ち、仕事として教職にあることもあり、勉強になりました。授業の中で触れていきたい。

★難しいことを勉強していたんだなあ。 ★学校にはこういう歴史があったんだ。 ★資料と写真がわかりやすかった。 ★分かっていること、閉ざされてしまったこと(隠されたこと)、いろいろ有るんですね。

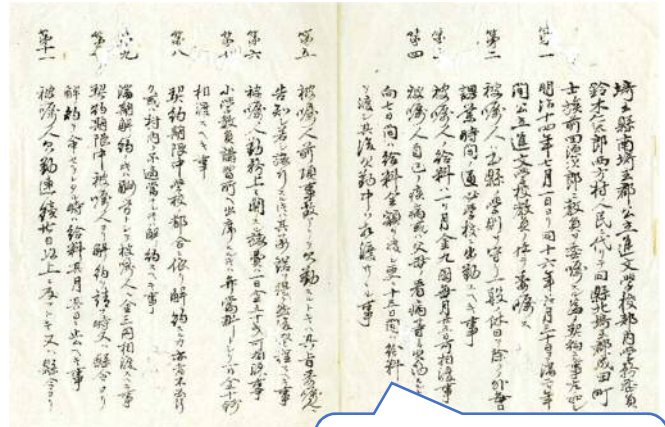
★市内で150年の歴史をもつ8つの学校について詳しく説明して頂き、大変勉強になりました。

建設中の越ヶ谷尋常小学校
明治三四年頃(越ヶ谷小学校所蔵)

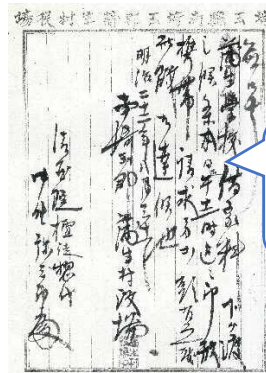


教育史上、その誕生期の様子をご紹介しました。その次の大きな変革は第二次世界大戦後でした。大戦末期から終戦後の混乱と変革は、越谷市域の学校から観たらどのように映ったのでしょうか。そのことについて、当時の様々な史料をもとに【第二部 終戦前後の学校】の展示を8月頃に行う計画です。(詳しくは広報こしがやでお知らせします。)

会期中、来館された方の総数は453名でした。御礼申し上げます。
今回はわが国の近代



期間、給料について西方村が雇った教員との契約書
(越谷市教育委員会所蔵)



蒲生学校が置かれた清蔵院に借家料を蒲生村が払うので受け取りを要請する文書(個人蔵)

校舎建設や教員雇用等は町や村の負担でした。